

特集

婦人科がん化学療法の進化—最適レジメンと管理を考える—

企画 宮城悦子

【Ⅰ. レジメン選択に関する検査】

1. 子宮頸がんにおける PD-L1 検査 村岡 枝里香
2. DNA ミスマッチ修復機能低下の検査 藪野 彰
3. 卵巣がんにおける相同組換え修復欠損検出検査 尾堀 佐知子

【Ⅱ. 子宮頸がん初回治療】

4. 同時化学放射線療法による初回治療時の化学療法レジメン 馬屋原 健司
5. 広汎子宮全摘出術後の補助化学療法—化学療法・CCRT— 古澤 啓子

【Ⅲ. 再発・進行子宮頸がん】

6. ペンブロリズマブを含む多剤併用療法—ベバシズマブはどう使う?— 平澤 猛
7. セミプリマブはどう使う? 久慈 志保

【Ⅳ. 子宮体がん】

8. 子宮体がん初回治療—術後の補助化学療法の選択— 野村 弘行
9. 進行・再発子宮体がん治療

—ベムプロリズマブをどう使う? レンパチニブとの併用は?— 温泉川 真由

10. 妊孕性温存, 進行体がんにおける高用量 MPA 療法のポイント 北澤 晶子

【Ⅴ. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がん】

11. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がんの初回化学療法

—conventional TC か dose-dense TC か? ベバシズマブは併用する?— 池内 香子

12. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がん初回化学療法後の腫瘍残存症例

—1) プラチナ感受性症例への PARP 阻害薬の選択は? 鶴田 智彦

13. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がん初回化学療法後の腫瘍残存症例

—2) プラチナ抵抗性腫瘍への化学療法選択は? 高取 恵里子

【Ⅵ. その他の悪性腫瘍】

14. 卵巣胚細胞性腫瘍に対する化学療法レジメン—難治性・再発症例も含めて— 玉内 学志

15. 子宮肉腫に対する化学療法レジメン選択の基本的な考え方 竹原 和宏

16. 絨毛がんに対する多剤併用療法のレジメン選択 片山 恵里

産科と婦人科 Vol. 91 No. 2

定価 3,190 円 (本体 2,900 円 + 税 10%)

2024 年 年間予約割引購読料 46,735 円 (消費税込, 送料小社負担)
(増刊号 1 冊を含む年間 13 冊)

○予約購読のお申し込みは、最寄りの医学書取扱書店へ、または弊社ホームページ、FAX か E-mail でお申し込み下さい(電話でも結構です)。

発行所 (株) 診断と治療社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 4F
TEL 03-3580-2770 (営業)

03-3580-2750 (編集) FAX 03-3580-2776

営業部 E-mail: eigyobu@shindan.co.jp

編集部 E-mail: hen@shindan.co.jp

編集委員 / 五十嵐敏雄・石本人士
寺内公一・宮城悦子編集顧問 / 青木大輔・綾部琢哉
岩下光利・大須賀穰
落合和徳・金山尚裕
佐藤和雄・杉本充弘
高松 潔・武谷雄二
田中 守・谷澤 修
藤井信吾・三橋直樹
峯岸 敬・百枝幹雄
吉川裕之・吉村泰典
若槻明彦・渡部 洋
(50 音順)

編集兼発行人 藤 実 正 太

編集担当 馬場瑞季・寺町多恵子

印刷所 三報社印刷株式会社

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は株式会社診断と治療社が保有します。

・**JCOPY** < 出版者著作権管理機構委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, Fax 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・本誌を無断で複製 (複写・スキャン・デジタルデータ化を含みます) する行為は、著作権法上での限られた例外 (「私的使用のための複製」など) を除き禁じられています。大学・病院・企業などにおいて内部的に業務上使用する目的で上記行為を行うことも、私的使用には該当せず違法です。また、私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記行為を行うことは違法です。

・『産科と婦人科』は、株式会社診断と治療社の登録商標です。

©2024, Printed in Japan